

2022.05.29. なぜクリスチャンが互いに言い合うのか

ヤコブの手紙 4 章 1～3 節

JD ファラグ牧師

可能な方は、ご起立ください。私が読みますので、ついてきてください。無理な方は、座ったままで結構です。「ヤコブの手紙 4 章 1 節」からです。ヤコブが聖霊によって、最初の節で、2つの質問を投げかけます。

ヤコブ 4

1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。

2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。

3 求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。

祈りましょう。よろしければ、ご一緒をお願いします。

父なる神さま.....わお～、これは大変です。すべての御言葉は、理由があって記されています。ですから、これは私たちへの戒め、励まし、必要な叱責だと分かっています。しかし、主よ、そのためには、聖霊が私たちの注意を引き、保ってくださる必要があります。それは、私ができる事ではありません。

主よ、どうか私たちの注意を引きつけ、今日、聞くだけでなく、心に留められるようあなたが私たちの人生に願われることを語ってください。

主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いております。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。メモには、今日話したいことが書いてありますが、本当は違うんです。今日、この件は、本当はあまり話したくないのです。—(笑)— 今日、皆さんにお話す必要があるのは、なぜ私たちクリスチャンがお互いに口論し、争いをするのか、いくつかの理由です。おそらくもっと重要なのは、私たちがそれに何ができるか、もっと具体的にいうと、どうすればそれを止められるか、です。今日の私たちの前にある聖書箇所、ヤコブは、再び例のごとく、皆さんが私と同じなら、そうだと思いますが、ヤコブのこういう所を感謝するようになってきていると思います。つまり、彼は手加減しません。それが正しいのですが。しかし、またしてもいつも通り、彼はこの微妙で難しい話題に真正面から取り組みます。それには理由があります。この問題が起こっていたようです。大問題だから、それについてを御霊によって指摘し、書いているのです。何が問題だったのでしょうか？ どうやら彼らは互いに対立していたのです。教会内で紛争がありました。ところで、理解してほしいのですが、これは、クリスチャン宛、キリストにある兄弟姉妹宛の手紙です。キリストの体の中でこれ(対立)が起こっていました。口論や争いによる問題が、、、多くの被害を与えていました。だからヤコブは、聖霊に促され、この問題に取り組んでいます。それで、この最初の 3 節で、なぜキリストにある兄弟姉妹でありながら、争い、口論し、喧嘩し、噂話をし、誹謗中傷するのか 4 つ以上の理由があります。続けましょうか？ この雰囲気だと、ここで止めた方が良さそうですね。ヤコブは、この章の後半で、3 章で語ったように、再び誹謗中傷を取り上げますよ。「舌は、小さな火花のように、多くの破壊とダメージを引き起こす火種となり得る。」その前に、使徒パウロが「ガラテヤ人への手紙」に書いた教えを見たいと思います。実はそれは、ヤコブがここで書いているのと同様に、またそれ以上に強烈で、彼は基本的に、クリスチャン、キ

リストの兄弟姉妹にこう言います。「今のようなことを続けていたら、互いの中で滅ぼされてしまいます。喧嘩や口論を続けていると、互いに食い合ってしまう。」(ガラテア 5:16 参照)

考え違いをしてはいけません。サタンは、教会を外側から滅ぼすことはできません。では彼はどうするのか？ 彼は、教会に入り込みます。もちろんこの教会ではありません。(笑) 他の教会に...サタンは内部から破壊します。彼は分裂をもたらします。手引き書通りの「分裂と征服」です。彼は、クリスチャンを分裂させ互いに争わせられれば、あとは休めます。私たちが彼のために、彼の代わりに仕事をするから。彼は、リモコンを持って、リクライニングチェアに座っているだけ。例えば極端ですが、ポイントは分かりますね。サタンはただそのショーを見ているだけで、あなたが、そのホラー小説の次の章を書くこととなります。時間の問題ですから。ですからヤコブは、御霊によって、それを指摘するだけでなく、取り返しのつかないダメージになる前にやめさせようとしているのです。それでヤコブは、問題の核心に迫ります。そこでまず彼は、対立の原因を明らかにし、その解決策を取り上げます。では、何が原因なのか？ 1節です。私たちは「自分の中に欲望がある。」それがすべての始まりです。ヤコブは、クリスチャンの間の争いや喧嘩の元凶は、そういう欲望にあると明確に述べます。興味深いことに、ある翻訳では、「私たちの内なる戦争」と表現しています。私たちの心の中に戦いがあり、欲望を持ち、何かを手に入れたいと望む。この機会に、欲望とは何かを定義しておくのがいいと思います。欲望とは、神が禁じておられるものを私たちが欲することです。これは本当に重要です。見逃さないで下さい。理由は、多くのクリスチャンが、、、どう言えばいいのでしょうか、、、これに惑わされています。神が仰っているのは、「わたしが神だから、わたしが言うのだから欲望を持つてはいけない。罪を犯してはいけない。」ではありません。罪は、禁じられているから悪いものではありません。罪は、悪いから禁じられているのです。つまり、神は、私たちが罪を犯すことで生じる破滅から、私たちが救いたいと願っておられるのです。ある人がこう参照するのが好きです。十戒(The "Ten" Commandments) は優しい戒め("Tender" Commandments) 十戒とは、愛と優しさに溢れた天の御父からの戒めなのです。「あなたは、_____をしてはならない。なぜなら、わたしはあなたをとっても愛しているから。あなたがわたしに背いたときに、不必要に起こることを、見るに忍びないから。」まず最初の2つから始めましょう。

1)「あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。なぜなら、彼らは全く神ではないから。彼らはあなたのためにならないのです。」

木曜日の夜の礼拝「エレミヤ書」でこれを見ました。彼らは、自分たちの神を作りました。自分たちが神を作らないといけない時点で問題です。そして、その神々を持ち運びます。それはさらに悪いです。

「待って。あなたたちは、神を持ち運ぶ必要があるの？ 私の神は、私を背負ってくださいます。」(会衆：アーメン)「だから、他の神々があってはならない。彼らは神ではなく、あなたのために何もできないから。また、どんな偶像も作って、ひれ伏して拝んではならない。それらは神ではありません。(文語訳)「汝、我面(わがかお)の前に、我の外(ほか)、何物をも神とすべからず」なぜなら、わたしのような神は他に存在しないから。【主】よ、あなたに並ぶものは他にありません。」

再度「エレミヤ書」を参照しますが、これは本当に力強いです。私は、神のこういうところが好きです。神がご自分を自慢して基本的にこう仰います。「天と地と海、またそれらの中のすべてのものを、わたしがそれを創造したんだ～ わたしが造ったんだぞ～ あれらは、そんなことしていない。あなたが崇拝するその神は、あなたが持ち運ばなくちゃいけないの？ あ～そういえば、しゃべれないよね？ あなたが話しかけても、あれらは話さない。話せないからね。あれらは息もしない。いのちがないのだから。」

旧約聖書は、言い方はマズいですが、驚くほど詳細に話が書かれていて、旧約聖書の至るところで、神は宣言されます。

「わたしは、あなたをエジプトから救い出したあなたの神、主である。」(出エジプト 20:2)

強調されているのは、「わたし」があなたの神、主である。あれらは、あなたの神ではない。」アロンが言った、あの金の子牛は、「たまたま火の中に金を入れたら、パッと金の子牛ができて、民がそれを拝み始めただけ〜」(出エジプト 32:24 参照)

「あれは、あなたがたを、エジプトから救い出していない。」わたしがしたのです。わたしはあなたの神、主である。」そう、禁じられているものは何でも、私たちにとって悪いから禁じられているのです。だから、禁じられています。神は私たちをととても愛しておられ、私たちの不従順がもたらす不必要な苦しみ、辛い結末から救いたいと願っておられます。だから、仰っています。「してはならない。欲しがってはならない。」次は「貪欲」の話をしします。貪りは止めなさい。それはあなたを、内外から破壊してしまいます。妬み、嫉み、貪り、それらはあなたの昼食を食い尽くしてしまいます。そして夕食も朝食も食い尽くします。ですから、これが全ての始まりで、それは、禁じられている何かへの私たちの熱望、欲望なのです。つまり、喧嘩や口論、争いは必ずここから始まるのです。私たちは、持っていないものを欲しがります。それが問題なのです。私たちが持っているものを他の誰かが持っています。それが問題なのです。貪欲の意味を知っていますか？「私が手に入れられないなら、あなたも手に入れるべきではない。」さあ、正直になりましょう。

2つ目、2節前半です。

2)「私たちは、持てないもの、手に入らないものを欲しがります。」

ヤコブはさらに一歩進んで、誰かが持っているものを欲しいと思うことが、どうやって手に入れようかと熱望する結果になると説明します。そして、欲しいものが手に入らないと、どうにかして手に入れようと、喧嘩や戦いに訴えるのです。そういう仕組みです。何が悲しいかということ、クリスチャンが他のクリスチャンを中傷したり噂話するおもな理由の一つは何かと皆さんに聞かれたら、それは、その人に嫉妬しているからだと思います。それが、喧嘩や争いや葛藤や対立の原因です。私たちは、持っていない何かを欲し、欲しがります。兄妹姉妹の誰かがそれを持っている、「どうということ？」という感じで見られます。そして彼らの持っているものを欲しがり出し、同じものを手に入れられないとき、彼らにある物を食らうとします。そしてこれが2節の後半3つ目に繋がります。私たちは、求めないのです。お付き合いください。これは、よく知られた一節ですよ。私たちがよく引用します。

3)「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」私たちは常に祈りの言葉で、それを訴えます。これほど罪悪感を生むものはありません。祈りの話を持ち出すと、罪悪感は止むことのない賜物です。は〜「祈りが足りないんだ。」「そうですね。」誰かに、重い罪の意識を負わせたいのですか？祈りの生活について話すことで.....。あ〜〜「求めないから得られないのだ。」「ああ、分かっています。」しかし、ヤコブがこれを書いた文脈に、戻ってみましょう。基本的に、ヤコブがここで言っているのは、私たちが欲しい事を、神に求める代わりに、私たちは争って得ようとするのです。神に求めれば簡単に済むものを。でも、私たちは神に求めません。「お〜、あなたはそれが欲しいのですか？」「はい。」私にはありません。「なぜあなたにはないの？ なぜ、わたしに頼まないの？」つまり、自分の欲しいものを手に入れるために他人と争うのではなく、なぜ、あなたは祈らないの？ 欲しいものを与えられますようにと、神に祈るのは、何と素晴らしいアイデアでしょう。注意して、考えぬいて、これが私が得た最善の

答えて、こういう事です。答えられない祈りは必ず、求めなかった祈りの結果です。深遠でしょ。今週ずっとこんな感じでした。「これ正しい？正しく聞こえてる？」はい、正しいです。もっと説得力のある言い方や方法があると思いますが、要点はお分かりましたか？「ええ、祈りは届かなかった。」その祈りって、祈ったの？ 待って。皆さん、こんなことを言われたことがあるか、自分に言ったかもしれません。

「なぜ神に求めるの？ 神は既に必要なものをご存知なのに。何がポイント？」おお！ 皆さん、何の話か分かりますね？ これには、こんな考え方があります。「あなたは何か欲しいものがあるなら、なぜ神にお願いしないの？」これから見ますが、

「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものである」(ヤコブ 1:17)

神にお願いして、それが良いものなら、あなたは得ます。あなたが欲しい時に、欲しい方法で、欲しい色で手に入るとは限りませんが、良いものなら得られます。しかし、もしそれがあなたにとって良くないものなら、神はあなたに与えられません。祈って神が答えられなかった祈りが、嬉しくありませんか？ 祈りのリストや日記をつけている人は、それを見返したことがありますか？ 気の弱い人にはお勧めできません。なぜなら、祈りを読み返して思うからです。「私はこんな祈りをしてたんだ！」その祈りをそのように祈ったことで神に謝るようになります。答えられなくて当然です。そして、神に感謝するのです。

「神様、この祈りに答えてくださらず、ありがとうございます。あの時、あの方法で、祈りに答えてくださっていたら、大惨事になっていたでしょう。」神はこんな感じです。「分かっています。わたしは神です。だから、答えなかったのですよ。」「祈りは物事を変える」と言われているのを聞いたことはありますか？ もちろんその通りです。祈りには力があります。でも、これはどうでしょう？「祈りは、祈る人を変える。」ちょっと説明させてください。つまり、あなたがある方法で祈り、、、神はその祈りを聞いておられます。そして何らかの理由で神があなたの求めるものを与えられない時、少なくともあなたは祈りましたが、神のなさっておられ、仰る事は、私たちが祈りを編集する必要があります。私たちが祈りを変える必要です。私自身主との歩みの中で、この特定の状況には、別の方法で祈る必要があると、神が示してくださり、本当の変化があったということがあります。私は祈っていました。その祈りには何の問題もありませんが、しかし、もっと具体的にこう祈る必要があったのです。そしてその途端、パッとすべてが変わりました。そのポイントは、時に、、、頻繁とさえ言えますが、自分が欲しいと思っているものが、実は欲しいと思っていないことがあります。神は常に私たちが必要とするものを必ず提供くださると知っていますが、私たちは祈りというお店で、タグを入れ替えようとして、「欲望」のタグを、「必要」のタグに付け替えます。そう、神はそれを見ておられます。

「いいえ、わたしを信じなさい、JD。あなたは、わたしがその祈りに答え、あなたに与えることを望んでいませんよ。」それをここで最後に見ていきます。3節、私たちが求めるとき、「間違っただけ自分勝手な動機がある。」ヤコブがここで言っていることは、ある意味、元の話に戻ります。神にお願いしても得られないのは、私たちが正しい心ではないから。私たちは、正しいことを求めている、間違っただけ動機で求めているかもしれません。ある人の言葉が好きです。祈っても神が答えて下さらないのは、たぶんタイミングが悪いので、「ゆっくり」と仰っておられる。または、自分が間違っているのだから神は「成長しなさい」と仰っている。または、願いが間違っているのだから神は「ダメ」と仰っている。でも自分が正しく、願いが正しく、タイミングが正しく、自分の心(動機)が正しいなら、神は「さあどうぞ。」と仰られる。祈りと、祈る人がどう変わるかとなると、私たちの心を探るようなところがあります。私たちは祈って、神に宝くじが当たるよう求め、什一献金すると神に約束する。あくまで例として使います。(笑) 皆さん、

今のに笑って下さって嬉しいです。だからあなたは宝くじが当たりませんでした。まず、宝くじを買わない方がいいです。それが一番の問題ですね？ しかし、私たちの心が間違っています。タイミングが悪いのかもしれませんが。私たちが間違っているのかもしれませんが。また、神が「ダメ！」と仰っているのではありません。神が「わたしはそんなことはしない！」と仰っているのではありません。神が仰っているのは、「できません。したいけどできないのです。わたしは認められないのです。あなたの心が正しくないから。あなたの心が正しく、動機が純粹なら、お～わたしは、あなたが望むものは何でもしましょう。」イエスは仰いました。

「何でもわたしに求めなさい。それが御父の栄光をもたらすなら、あなたは求めるものを得られます。」
(ヨハネ 14：13-14 参照)

イエスは仰られました。しかし、あなたの動機が正しくなく、あなたの心が正しくないなら、神はその祈りに答えることは御出来になられません。

今日は、少しだけ違った方法で、締めくくりたいと思います。まず、いくつか質問します。現在、あなたの人生で、キリストにある兄弟姉妹との関係において、どのような状況ですか？ 一緒に考えてほしいのです。それが正しくなく、あなたの心が正しくないから、あなたの祈りは天井から跳ね返って来るのでは？ もちろん、そもそも祈っていることが前提ですが。「マタイの福音書5章」について、さっと話しましょう。イエスは仰います。「祭壇に捧げものするなら、気にしないでください。それよりもまず行って、全てを失う前に出来るだけ早くその問題を解決しなさい。

そして、その関係を正しくしてから、また祭壇に戻ってきて奉仕の捧げものができます。」(マタイ 5：23-24)

私たちがお互いにどう接するかは、主の御目から見てかなり重要なレベルにあると思いませんか？ n あえて議論用に、使徒パウロの「第一コリント人への手紙」の話を出します。彼らが互いにどう接していたのか？ 彼らは、主の晩餐（聖餐式）で、キリストの体、信者の仲間、兄弟姉妹を見分けることができなかったのです。そして、それが故に、、、---これがいかに重要か---お互いにどう接するか？ これが非常に重要です。実際に病気で倒れたり、中には死んでしまう人もいました。神は彼らを早く家に連れて行かれたのです。これってかなり深刻ですね？

最後にもう一つ例を挙げます。イエスは仰られませんでしたか？

「人々が、あなた方がわたしの弟子であるのを知る方法は、あなた方の互いの愛によってです。」
(ヨハネ 13：35 参照)

では、それをひっくり返してみましょう。人々が、私たちがイエスの弟子であるのを知る方法が、私たちの互いへの愛によるなら私たちが互いに貪り合い、中傷し、噂話し、争うことは、それを疑わせるのが当然ではないですか？ かなり深刻ですよ？ つまり、私たちが互いにどう接するかは、私たちの人生のあらゆる領域に影響を与え、特に祈りの生活に影響します。だから、この人間関係で対立するのです。最後にこの質問をしていいですか？ もし自分が貪るのをやめて、自分が欲しいものを神に求め始めたら、どんな議論や対立が終わるでしょうか？ 繰り返しですが、それが対立の原因だからです。自分は欲しいものがあるのに、持っていない。だから、そのために人と戦うのではなく、代わりに神に祈り求めてはどうでしょうか？ それがこの背景です。自分がそうするなら、どんな対立、どんな関係が修復されますか？ これは、神の御言葉の実行者であることが最も重要です。そう、私たちに結局必要なのは、皆さんに結局必要なのは、心への祝福です。これはまた別の説教です。私はここに立って、また別の説教がで

きます。それだけです。しかし皆さんが、ここを出て、聖霊が、皆さんがここで聞いたことを、あなたの人生に当てはめる作業を開始させて下さらないなら、私たちは、時間を無駄にしました。これはすべて時間の無駄でした。どうすれば対立を止められるのか？ どうすれば争いを止められるのか？ どうすれば、貪り合いを止められるのか？ 祈り始めてください。

最後にもう一つ。「マタイの福音書5章」だと思いますが、間違っているかもしれません。イエスは仰いました。

「あなたの敵のために祈りなさい。あなたを侮り、悪口を言う者のために。」(マタイ 5:43 参照)
マジですか？ 私の敵のために祈るの？ 友達のために祈るだけで精一杯です。なのに、敵のために祈れと言うの？ OK！ 奴らのために祈るぜっ。(笑) ちなみに神は、その祈りに答えては下さりませんよ。ネタバレです。ご心配なく、試さないでください。私は試しました。信じてください。うまく行きませんか。なぜか？ ええ、どうやら対立しているから彼らは敵なのでしょうが、だから敵なんです。だからあなた方は、敵なのです。彼らのために祈り始めて、何が起こるか見てみてください。祈っている人に対して、いつまでも怒っていたり、敵対することはできません。なぜなら、そう、彼らのために祈り始めると、彼らに対するあなたの心が変わり始めます。そして突然、神が彼らを祝福してくださるといふ既得権益を手に入れます。そして今や、彼らは敵ではありません。もう、欲しがったりしません。もう彼らと争うことはありません。祈り始めたら、問題が全部解決しました。その教会のクリスチャンがただ祈っていたならこんにちも教会であり続けた教会がどれだけあったことでしょうか。

「共に祈る教会は共にある」という表現を聞いたことがあると思います。このことは夫婦関係、家族関係、全てに当てはまりますよ。なぜなら、祈りはとても強力で、祈ることで私たちが変わり、全体の原動力が変わります。私は、特権からここに立っています。

ご起立ください。カポノは上がってきてください。毎週ここに立つことができるのは、間違いなく特権で、この素晴らしい教会の牧師であることは、素晴らしい特権です。何年経つか分かりませんが、もう何年も前のことで、2004年、私たちは「聖書の学び」を始め、2005年が、最初の日曜朝礼拝を開始した正式な年でした。私たちが、教会紛争や教会分裂という杯を味わったことがないのを、心から神に感謝します。そして、すべての栄光は神のもので。皆さんにお礼を言いたいです。私はよく言います。もし私がこの教会の牧師でなかったら、ここが私の通う教会だと。いや、マジです。皆さんには本当に愛があります。皆さんは本物で、牧師の働きを楽しくして下さい。皆さんにそれを知ってほしい、分かってほしいと思います。それを言える牧師はそう多くはいません。皆さんご存知、実話ですが、誰かが他の人より大きなチーズケーキを食べるといような些細なことで分裂した教会があります。チーズケーキだから...そうですね。分かります。(爆笑) チーズケーキといえば...みんなチーズケーキ大好きですもんね？ 私にチーズケーキを買って来ないでください。(笑) マジです。カーペットの色を決める事で、教会を分裂します。カーペットの色です。このカーペットの色を見ないでください。気に入って下さると思います。そんな些細なことで、です。なんてちっぽけなのか。なんてちっぽけなのでしょう。私たちはどれだけちっぽけなのでしょう。そして、世は私たちを見ていますよね。そして、世はクリスチャンに2つの質問を投げかけます。

1) あなたたちは本物なのか？ 本物ですか？

2) うまく行くのか？

彼らは、本物であってほしい、うまく行ってほしいのです。もし本物でうまくいくなら、自分にも希望が

持てるからです。私たちは本物ですか？ 彼らは私たちを見て、言うのでしょうか？

「あいつらは、互いに喧嘩して、悪口を言っている。」それとも、彼は私たちを見て思うのでしょうか？

「本当に互いに愛し合ってる！わお！」

天のお父様、今回の箇所も、最善を尽くしました。ここからは聖霊がそれを取られ、私たちの生活に組み込む作業を始められ、私たちの生活に適用下さり、心に祝福をくださることを信じます。

主よ、私たちの人生にこれが現実となることを望みます。

「見ろよ。あの人たち、いつも喧嘩してる。」と言われるような者に私たちは数えられたくありません。

主よ、私たちの争いや貪欲さ、それに付随するものをお赦してください。

主よ、私たちがあなたのもとに来て祈り、何でも求められ、それが良いことで、あなたの栄光をもたらすなら、私たちの求めるものを何でも与えてくださることを感謝します。

主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7